



絆

教育目標「気概にあふれ主体的に考え行動する生徒」

～小さな学校の大きな誇り～

花巻市立湯口中学校

校報 No.18

令和8年6月8日

文責：校長（菊池）

いじめは絶対許されない行為である

6月1日（月）の3校時に「いじめ防止集会」が生徒会執行部の運営で開催されました。執行部は、いじめにつながる事例を寸劇で示し、何が問題なのかについて解説を行い、生徒のいじめ防止への意識を高めました。このあと、学級の話し合いをもとに「いじめ撲滅宣言」が掲げられることになります。

【事例1】

A男「D男って、絶対片付けしないよな。毎回、片付けになるとトイレに行く。マジ、むかつく。」
 B男「注意すると“トイレ行って何が悪い”って逆ギレする。どんな神経してるんだ。シネ。」
 C男 <笑ってうなずきながら聞いている。>（心：それはその通りだけど... A男とB男はいつもD男の悪口ばかり言っているから、聞いていて気分が重くなるんだよなあ。）
 A男「（C男に向かって）なあ、お前もそう思うだろ。」
 B男「（C男に向かって）むかつくよな、あいつ。」
 C男「まあな。」（心：結局、オレも一緒に悪口言っている一員じゃないかあ。）
 A男「（C男に向かって）あまえ、最近オレ達との会話に入ってこないよな。」
 B男「（C男を黙って見つめる）・・・（A男に向かい）でさあ、D男、この間こんなこと言っててさ、本物のバカだよ、あいつ。」
 C男（心：もしかしたら、オレがいなくなった後、A男とB男はオレのこと同じように悪く言うんじゃないかな。どうしよう。）

【解説】

- ほとんどの場合、悪口を言っている人は、自分ではなく相手が悪だと思っています。
- この事例の場合も、片付けをやらないD男に問題があります。
- このように、悪口の内容は理にかなっていることもよくあります。
- この事例を元に次のような意見がありました。
 - ・いくら正しいことを言っても、陰で悪口を言って相手が変わることはない。
 - ・言っている本人は悪口だと思っていなくても、周りで聞いている人はそれを悪口と捉える。
 - ・たとえ自分の悪口でなくても、そういう言葉があふれている教室の居心地はよくない。
 - ・だから、本人のいないところで悪く言うのは控えよう。たとえ、不満を感じても簡単に口に出さず、自分の中に留めておこう。
 - ・このように考えている仲間がいることを心に留めようと確認しました。



寸劇を披露する執行部



発表する3年生



話し合う1年生



話し合う2年生



発表する2年生



発表する3年生

【事例2】

A子「私はあまりアイドルにくわしくないから、B子たちがアイドルの話をし始めるとよく分からなくてついていけないんだよね。」

C子「ふーん。」

C子「ねえ、B子。A子があんと話していても面白くないと言ってた。」

B子「は？何それ！私もA子と話してもちっとも面白くないし。あいつマジむかつく。」

C子「(うんうん)」

B子「ありえなくない？」

C子「ほんとだよね。」

A子「おはよう！」

B子「(無視)」

A子「(落ち込む→怒り)」

C子「どうしたの？A子、元気ないね。」

A子「今朝、B子に声をかけたら無視されて。腹が立つ！私なんか悪いことした？」

C子「ああ、B子がこの間、A子のことがむかつくって言ってたよ。もう、話したくないって。」

A子「え?! (どよ～ん)」

C子「大丈夫だよ。」

A子「ありがとう。」

【解説】

○C子さんは知らないでいる本人に教えてあげようという親切心で伝えた。そうすることで、C子はA子ともB子ともつながりを持ち、両方から頼られる存在になった。

○しかし、陰口を本人に伝えることが親切な行為と言えるのか。この事例で考えたい。

- ・C子の行為は単なるお節介であり、集団の輪を乱す行為。知らなくてもよい情報をわざわざ本人の耳に入れる必要はありません。
- ・この先、自分の悪口が第三者を介して耳に入って来た場合、気を付けたいことを2つ確認します。
- ・1つ目は、自分の発言も、この第三者を通じて相手に伝わる可能性がある。だから、瞬発的に自分の思いを口にしないように気をつけるということ。
- ・2つ目。第三者の話は100%嘘でなくても、100%本当でもない。小さい那ことが大きくなって伝わるということ。
- ・例えば、この事例では、“話していて話題についていけない”という言葉が“話していて面白くない”と変換されて伝わりました。
- ・他の例として、“独特の走り方だ”とつぶやいた言葉が“変な走り方だ”と変換されて伝わったり、“あまり気にしない方がいい”とつぶやいた言葉が“無視しろ”と変換されて伝わったりした例もあります。
- ・だから、自分の陰口を聞いたときは、話半分以下に聞き流しましょう。

